

2020年9月16日

各 位

会 社 名 京都機械工具株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 滋
(コード番号 5966 東証第二部)



工具メーカーKTC、産業向けRFIDタグのリーディングカンパニー

Xerafyとパートナーシップ契約締結

～ RFID × 工具 で作業管理を改革 ～

KTC〈本社・京都府久世郡久御山町：代表取締役社長 田中 滋／証券コード5966〉は、各国の大手航空関連企業へのRFID関連商材の販売実績を持つ、産業向けRFIDタグのリーディングカンパニーであるXerafy Singapore Pte Ltd（本社：シンガポール／CEO：Alfred Wong／以下「ゼラファイ」）と戦略的パートナー契約を9月に締結しました。

KTCでは、これまでIoT技術搭載の計測機器で、作業データの正確かつ効率的な記録・管理・分析サポート等、作業工具の最適化、スマート化の実現を目指してまいりました。今回のゼラファイとのパートナーシップ契約により、工具専用の高耐久RFIDタグと、作業工具の連携が可能になりました。RFIDタグ搭載の工具により、全ての工具が情報化され、トレーサビリティが可能となり、ものづくりの最適化が実現されます。

様々な業界で安全に対する社会的な要求が高まり、保守、修理及び点検等管理体制の強化、作業の効率化が求められています。その中KTCは、工具にRFIDを搭載し、専用リーダー及びソフトウェアとの連携により個別情報をデジタル化することで、紛失の抑制と検索、作業状況のリアルタイム管理と作業履歴の確認等、作業現場の様々な要望に応じた管理体制の構築が可能となります。この様に、RFID技術によるフルデジタル化は、作業工程、作業結果、管理体制の企業が求めるリアルタイムデータ収集・分析、データに基づく意思決定等コンプライアンス体制の強化に大きく貢献します。

KTCは次世代作業管理の進展を見据え、RFIDなど各種IoT技術によるスマート工具及び専用ソフトウェアを使用したトータルソリューションを提供し、ものづくり革新を進めてまいります。

KTC RFID ツールキットの MRO ソリューション 一例



ツールの管理

全ての RFID 工具はシステム上で管理可能。
例えば、「この整備工程ではこの工具を使用する」といった整備士への工具の指定も可能。
手順間違いにより発生する事故の抑制にも効果的。

ツールのトレーサビリティ

整備士、整備工程に応じた工具の指定やトレーサビリティが可能。例えば「いつ」「誰が」「どの整備工程で」「いつまで工具を使用したのか」など、作業履歴を追跡。
データ化された作業履歴は、ネック工程の洗い出しにも活用。

紛失工具のサーチ

付属のリーダーで、紛失工具の検索が可能。
工具の置き忘れによる機体や関連システムの損傷を未然に防止。

在庫管理

倉庫内やストレージ内の、工具の在庫管理が可能。
また消耗工具など定期的なメンテナンスが必要なツールに対し、管理の自動化を実現。

【Xerafy Singapore Pte Ltd 会社概要】

本社国籍：シンガポール

CEO：Alfred Wong

資本金：10 百万米ドル

WEB：https://www.xerafy.com/xerafy-in-japan

本件に関する問い合わせ先：K T C（京都機械工具株式会社）

ソリューション営業部

tel：0774-46-3705

Email：support@kyototool.co.jp